

[タイム] クソハナ沢出合(12:00)→遊行終了(12:30)→踏跡(13:20)

## デトサネ沢

1983年8月20日

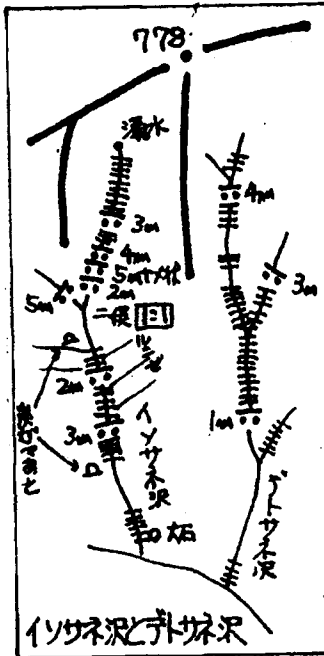
778m標高から少し下るとデトサネ沢の源頭であった。10時55分下降開始。デトサネ沢の方は概して平凡。ナメが断続的にでてくるだけで、滝といえるようなものもなく、観音堂沢本流に出てしまった。わずか30分の下りであった。

[タイム] 下降開始(10:45) →観音堂沢本流(11:20)

## イソサネ沢

1983年8月20日

沢の大きさ、規模からいってあまり期待はもてないが、県境になっていることで、なぜか気になっていたイソサネ沢を目指して、いつものように戸上向の空地に車を置いて出発。1時間程歩いてから、クソハナ沢



を下りて観音堂沢本流に降り立つ。今日の観音堂沢は、台風5号による大雨の影響がまだ残っていて、水量も多く、水の流れも早い。こんな時には、いつも簡単に通過してしまうナメが意外と通過困難な場所になっている。30分程かかってイソサネ沢出合に到着した。

10:00出合発。すぐV字に切れこんだ沢筋となり、ナメとなる。左右からは何本ものルンゼが合流してくる。やがて二俣。右俣に入る。小滝がかり、ナメも急峻となってきた。やがて瀑流。水源は冷たい清水であった。

追記：イソサネ沢に入るため踏跡をたどっている途中、サクラバシ沢のあたりで野猿の群れに出会った。私の視野に入ってきたのは2頭のみであったが、泣声や物音の具合からいって相当数がかなりの範囲に散らばっていた